

安心して住み続けられる 上私都 をめざして

上私都地区まちづくり委員会の取り組み

上私都地区まちづくり委員会は、八頭町福祉計画に基づき平成24年9月に設立されました。

愛称は委員会で検討し「こころは一つだ! 上私都」を略して『ここいち』と決め、旧上私都保育所を拠点として活動しています。

主な活動として、毎週月・木曜日の午後はカフェ『ここいち』を開催しています。誰でも気軽に出入りしていただいて、手芸をしたりお茶を飲みながらの雑談は、楽しい時間となっているのではないのでしょうか。また、グラウンドゴルフ、スポーツ吹き矢、講演会なども定期的に行い、今年10月からは月曜日のカフェで健康寿命を延ばそうと、八頭町推奨の『いきいき百歳体操』も取り入れています。

毎月第1・3火曜日はインストラクター指導による体操教室を行っています。参加者は60歳代〜70歳代で、体も動かしますが口もよく動く先生に笑われます。



インストラクターの軽妙な話術で、心も体も若返る

第4火曜日は介護予防・認知症予防を兼ねて高齢者対象を対象とした『いきいき教室』です。「今日もいっぱい笑おうで!」を合言葉にインストラクターの指導で体操をした後、楽しく昼食、午後は歌やゲーム、お茶を飲みながらおしゃべりと笑いがいっぱいです。



大学生が考案した『上私都かるた』小学生には負けられません!!

春休み、夏休み、冬休みの子ども交流会は毎年行っている恒例の行事で、地域の子どもから高齢の方まで世代間交流の場となっています。春休みの交流会では、主に独居高齢者のお宅を子ども達と訪問し、手作りの桜もちをお届けしています。今年子ども達からの温かいメッセージも添えられていて大変喜んでおられました。冬休みの交流会では、社会福祉協議会のボランティア活動を通して、まちづくり委員会に企画をしてくれている大学生が自主的に企画をしてくれました。学生の目線で上私都各集落の名所や風景を写真に撮

り、みんなで『上私都かるた』を作った、「かるた取り」をして楽しみました。

また、交流を通して上私都の豊かな自然と人柄に触れ合ううちに、環境大学生だった大阪出身の宮崎さんが「上私都を好きになり住みたい」と野町集落に定住し、まちづくり委員会の一員として、若い力と知恵を出してくれていますし、大学生とのパイプ役としても活躍しています。

今年度の新しい事業として、鳥取市医療看護専門学校の実習を受け入れました。全7日間に延19人の学生が来てくれました。『ここいち』の事業や集落訪問での高齢者とのふれ合いは、学校では学べない良い経験になったようです。

高齢化率も進み交通も不便なこの地域で、これからは『ここいち』がみなさんのふれあいの居場所となり「安心して住み続けられる上私都」であるように、福祉のまちづくりを進めていきたいと思っています。(上私都地区集落支援員 山口喜子)

ここいち川柳

「ここいち」で
老いをけします

えびす顔

(参加者 作)

